



仕事の原点に立ち返る!



うちだ・くみこ
千葉県生まれ。1994年慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。2000年弁護士登録、鳥飼総合法律事務所(08年よりパートナー)。06年から07年まで青山学院大学大学院法学研究科講師を兼任。16年和田倉門法律事務所設立。現在、ミサワ、トレジャー・ファクトリー、ビューティガレージの社外取締役の他、インタートレードの社外監査役をつとめる。

**難しいことを
分かりやすく伝える!**
—— 2016年1月に和田倉門法律事務所を設立してから1年余が経ったということですが、まずは事務所を設立した動機から聞かせてもらえますか。
内田 設立前は、税法と会社法を専門とする法律事務所、16年ほど在籍しておりました。ただ、近年は、検定事業など、従来の弁護士業務とは異なる業務の比重が高くなってきており、それ自体は社会的意義のあ

る業務なのですが、わたし自身は引き続き弁護士としての専門性を高めていきたいと考えておりました。
そこで独立することになりまして、16年1月に、前事務所の同期たちとともに、東京・大手町に和田倉門法律事務所を設立いたしました。現在は弁護士13名、税理士1名と、スタッフ複数名とでやっております。企業のコーポレート・ガバナンス(企業統治)や交渉・紛争案件、税務調査、税務訴訟など、様々なご相談に向き合っています。

法律事務所の設立から1年余、社会の課題を解決する弁護士活動に邁進して「**弁護士の仕事は戦うことではなく解決すること。お客様の悩みを解決できた時が一番嬉しい**」
学生時代、「世の中、無数にトラブルはあるけれど、何とか解決策を示していきたい」と考えて、ジャーナリストを志した内田さん。それが一転、大学卒業後には弁護士を目指すことに。進路は変わったが、法律の領域で社会の課題を解決するのが弁護士の仕事。「お客様の人生や社運を預かる仕事なので、責任の重さを日々実感しています」と語る中、自身が目指す弁護士活動とは――。

和田倉門法律事務所
マネージングパートナー・弁護士

内田 久美子

Uchida Kumiko



仕事の原点に立ち返る!

前提としながら、こちらの考えを理解してもらえよう、説得

2年間の司法修習を経て、弁護

か、弁護士業務を行ってきて一

普段から、難しいことを分かり

の悩みを解決できて、喜んでい

例えば、わたしは、手がける

戦いというのは手段の一つで

しかし、裁判官に理解して頂

タイプがあると思うんですが、

内田 ええ。専門用語は難し

プを聴く機会があったんです。

していくのが、法曹の仕事であ

少し噛み砕いてお願いします。

仕事だと誤解していましたが、

内田 憲法99条の憲法尊重

それからは、法律という手段

自由・価値ですら認めているの

ただ、大学4年の秋に決意は

内田 月並みですが、お客様

内田 コードへの対応を行

問題がBという考えでいくのが

用であると考えています。独立

良いと思います、なぜならこう

内田 マスコミの試験は受

いう理由があるからです、とい

内田 そうですね、わたしは、

を理

士になりました。

いですからね。われわれも、案

躊躇してしまいうのに、世の中を見

自分と違う人たちと折り合いをつけて生きていくことが大事

基本は難しいことを分

これは今の弁護士とも

内田 実は学生時代はジャー

内田 そうですね。ただ、当

そして翌年、受験をして別の

内田 マスコミの試験は受

こんなささやかなことでも躊

法の初回の授業を録音したテー

士になりました。

不正や違法行為に走れば会社は二瞬で潰れてしまう

内田さんは上場企業4

特に要となるのはトップです。

内田 もちろんです。社外役

悪い時もある。ですが、悪い時に

内田 コードへの対応を行

不正をしないことは当然とし

内田 コードへの対応を行

内田 マスコミの試験は受